

岡山大学で

学びを変えろ。



『学びのコンパス』

岡山大学の新しい学び



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学の新しい学び 『学びのコンパス』



5年後の社会は？ 5年前の世界は？

社会の変化と新しい学び

AIの発達、国際情勢の複雑化、情報の高速化…いま私たちは変化が大きい、未来を予測することが困難な時代に生きています。希望する職業はこの先もあるのか？AIのようなインパクトを持つ変革は次に起こるのか？誰にもわかりません。この時代を生きていくためには、これまで以上に、自身の専門に自信を持ち主体的に行動し続ける能力が必要です。社会の変化に応じて、人間の必要な能力も変化するので。

必要な能力が変わるということは、みなさんが学ぶ内容も更新されることを意味します。高校の教育内容は約10年おきに更新されており、みなさんが受けた高校教育は「主体的・対話的で深い学び」を行う新しいカリキュラムであると聞いたことがあるはず。

岡山大学で 学びを変える

新しい時代に適合した高校教育を受けたみなさんを迎えるこのタイミングで、岡山大学は教育内容を大きくアップデートします。みなさんが社会に出た際には、性別や国境などの垣根を越えてさまざまな人々と協働しながら課題解決に取り組めるようになる。そのために大学でどんな学びや体験をするのか。このように岡山大学が掲げる人材像にそって教育を大幅アップデートします。

目指すのは、 自ら行動する実践者

主人公はあなたです。教員は「何を教えたか」に加えて、みなさんが「何をできるようになったか」も重視し、共に学び成長することを楽しみます。学生には本学が掲げる「自ら行動を起こすために学び続ける実践者」を目指してほしいと考えています。教員の学びに対する姿勢を手本に、生涯学び続ける態度や能力を身につけてください。

新たな共通教育のイメージ

学びの第一歩

新しい学びの第一歩は、新入生がすぐに履修する、学部を越えた「全学共通科目」です。これは岡山大学の学生であれば誰もが共通して経験する学びで、基本コンセプトはLearn How to Learn です。



知の探研

全学共通科目では、新しい授業科目として「知の探研」がはじまります。これは教育者かつ研究者である岡大教員と学生が共に学ぶ授業です。「知の探研」ではグループで課題に取り組む活動を通じて、多様なメンバーからなるチームで協力して働く力、プロジェクトを進捗する力、メンバーと対話する力などを獲得していきます。



目指す姿

情報・数理データサイエンス、健康・スポーツ科学、市民性と異文化理解に知の探研を含めたこれら科目で、Creative Thinking Critical Thinking Problem Solvingなどの能力を磨いていきます。

論理・エビデンス的思考

身体的、精神的、社会的健康を実現

異文化を理解し協働できる



英語を当たり前使える

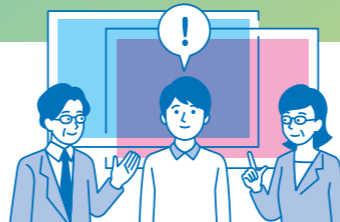
AIが発達してもさまざまな国や地域の人と協力するために、英語力(聞く・読む・話す・書くを統合した力)は欠かせません。英語科目では入学から卒業まで教室内外で学習を継続できる仕組みを整えます。

ENGLISH



専門を交える

専門教育科目では他学部の教員から専門を学ぶ「全学交流科目」を一年次に受講します。さまざまな分野の専門基礎に触れることができ、自分の専門を学んでいくときの意識づけにもなります。



社会で活躍できる人材へ

いわばこれからの社会は白地図です。
岡山大学で成長したあなたがそこで獲得したコンパスを使い学び続けることで、地球社会が新しい姿になっていくでしょう。

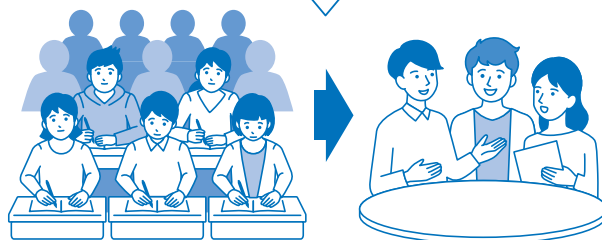
岡山大学の新しい学びの紹介

1991年の大学設置基準大綱化以降、学部教育から学士課程教育の構築へというスローガンのもと大学教育の改革が進んできました。その根幹を探れば、教員個々の研究活動を背景とした講義等で教員が「何を教えたか」から、教員による授業や学生間の学びを通じて学生が「何をできるようになったか」への移行、すなわち学習者中心(Learner-Centered)へのシフトがありました。これはBarrとTaggの両氏が1995年に提唱した、「教えるから学ぶへ(from teaching to learning)」と呼ばれる、教授から学習へのパラダイム・シフトに代表される世界的な潮流でもあります。

いっぽう、知識基盤社会・予測困難な時代において必要とされる能力に関して、OECD-DeSeCo、社会人基礎力、エンプロイアビリティ、21世紀型スキルなどの新しい能力観が国内外で多く提言されてきました。直近ではLearning Compassという考え方も登場しています。日本における高校の新学習指導要領、国際バカロレアの動向もこの流れに沿ったものといえるでしょう。

それらに通底するものは、知識基盤社会・予測困難な時代において学び続ける能力の育成といえます。そこで「教えるから学ぶへ(from teaching to learning)」という考え方のもと「Learn how to learn」の実現が大学教育において重要になるのです。学習者中心(Learner-Centered)の教育の展開が求められる理由はここにあります。

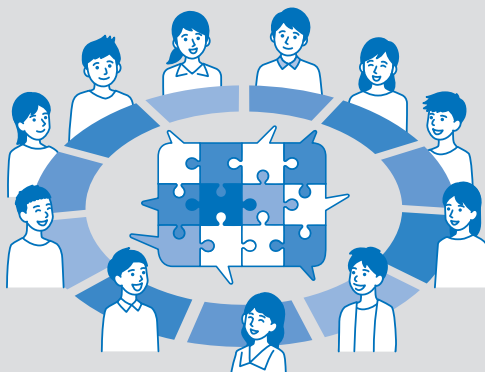
「教えるから学ぶへ」そして「学び方を学ぶ」の
学習者中心の教育を展開します



課題探究科目「知の探研」

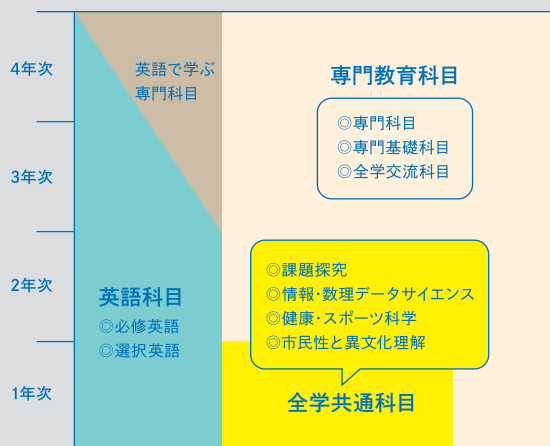
本授業科目は学部横断クラス編成により、多様な学問的志向を持つ学生同士で協力しながら課題を見だし、課題解決に挑む姿勢と能力を獲得することを目標とします。科目名は「知の探研」とし、大学入学以前に行っている探究活動と大学で取り組むことになる研究の橋渡しとなることを期待し、学生には本学での学問的活動を主体的に進める「探研家」になってほしいとの期待を込めています。授業は二つのパートから構成され、一つは1学期のセルフスタディ、一つは教室で行うグループ活動です。

グループ活動は、
学部学科の垣根を
越えて行います



教育課程

岡山大学の授業科目は、「全学共通科目」、「英語科目」及び「専門教育科目」に区分されており、これらを各年次に配当して教育課程を編成しています。



大学案内



岡山大学
公式SNS



学章

岡山大学

〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目1番1号
お問合せ窓口：岡山大学学務部学務企画課
Tel. 086-251-8457
E-mail daf8423@adm.okayama-u.ac.jp
編集：岡山大学 教育推進機構
発行：2024年6月
<https://www.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学

検索

